

科目名 **SS 英語Ⅱ <論理表現Ⅱ分野>**

理数科必修

2 年次・6 単位中 2 単位

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力と、事実や意見などを多様な観点から考察し論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。また、科学分野において有用な英語の語法や知識を学ぶとともに、グローバルな視点での科学分野におけるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。

位置づけ 次年度の「SS 英語Ⅲ」につなげるとともに、科学分野において有用な英語の語法や知識を学び、グローバルな視点でのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。

■使用する教材

- ・教科書：be English Logic and Expression II Clear
- ・副教材：英文法・語法 Vintage 4th Edition
Focus on Listening 〈Standard / Pre-Advanced ver.2〉
be English Logic and Expression II Clear
Grammar Book / 総合英語 be 4th Edition

■学習する単元とおおよその時期

- ・ be clear II
- Zone 1 : Lesson 1,2,3 【4～6月】
- Zone 2 : Lesson 4,5,6 【7～9月】
- Zone 3 : Lesson 7,8,9 【10～11月】
- Zone 4 : Lesson 10,11,12 【12～1月】
- Zone 5 : Lesson 13,14 【2～3月】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

- ・予習：Grammar Book の問題に取り組む。
- ・授業：テキストの内容に関する理解、定着、活用。
意見の表現、意見交換などに取り組む。
- ・復習：学習した項目の定着、活用

■観点別評価について

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|-------------------------------|--|--|
| 評価基準 | A 学習した知識や技能に関して、ほぼ正確に用いられる。 | 学習した事項の概念を理解し、状況に応じて活用し、論理的に表現をすることができる。 | 知識、技能の獲得や、思考・判断・表現等の育みを粘り強い取り組みをして行える。 |
| | B 学習した知識や技能に関して、ある程度正確に用いられる。 | 学習した事項の概念を状況に応じて活用し、ある程度論理的に表現をすることができる。 | 知識、技能の獲得や、思考・判断・表現等の育みを粘り強い取り組みで行う姿勢はある。 |
| | C 上記が達成できていない | 上記が達成できていない | 上記が達成できていない |
| 評価の場面 | 単元試験、課題の提出 | 単元試験、パフォーマンス課題（エッセイライティングなど） | 授業中・授業外での取り組み 提出物 |

■ 単元試験

| | 内容 | 時期 |
|-----|--|-----|
| 第1回 | Zone 1 : Lesson 1,2,3、 『Vintage』、リスニング | 6月 |
| 第2回 | Zone 2 : Lesson 4,5,6 『Vintage』、リスニング | 9月 |
| 第3回 | Zone 3 : Lesson 7,8,9 『Vintage』、リスニング | 11月 |
| 第4回 | Zone 4 : Lesson 10,11,12 『Vintage』、リスニング | 2月 |
| 第5回 | Zone 5 : Lesson 13,14 『Vintage』、リスニング | 3月 |